

## 薬学部 川田晃大

私は、水田三喜男記念奨学生として、国際グローバル研修(ハンガリー・ブダペスト商科大学BBS/BGE)に参加して学んだ事を以下3つに分けてまとめる。

### 1 文化や習慣の違い

ハンガリーと日本では宗教や文化、習慣や慣習も違う。私たちが現地の大学で日本語の授業に参加した時、クリスマスの過ごし方についての授業内容だった。日本では12/25にサンタクロースがやってきて、枕元の靴下にプレゼントを入れるのが一般的だが、ハンガリーでは違った。ハンガリーでは12/6にサンタクロースがやって来てプレゼントを子供にあげ、12/24の夜に家族内でプレゼントの交換を行うそうだ。また、日本ではクリスマスは恋人や友人と過ごすのが一般的だが、ハンガリーでは家族で過ごすのが一般的だそうだ。同じ「クリスマス」でも日本とハンガリーでは異なる事を学んだ。それと同時に、同じ言葉であっても全く異なるイメージをしているかもしれない事に注意しなければならないと思った。

### 2 コミュニケーションの違い

ハンガリーの学生さんはずっと話をしている。これは今回共に行った研修生ならば確実に同感するだろう。バスを待つ間、バスの中、電車の中、移動中、休み時間…。あくまでも個人の意見だが、わずか十数日間の研修で、日本の大学生活の2ヶ月分の量の話をしたと感じた。これはハンガリーの方がおしゃべり好きなんだ、という事ではなくて、ハンガリーには日本にはあまりない文化を持っているという事だと思う。色々な人と色々なおしゃべりをするという事はそれだけ色々な意見が出やすい/出し合いやすい雰囲気があるという事だと思う。それは、上下関係など独自の文化を持つ日本にはない雰囲気だと思った。

### 3 英語の重要性

今回の研修を通じて、外国語(英語)の重要性を肌で感じた。英語をもっと勉強していれば、もっとコミュニケーションが取れたのに…、と思う機会は数えきれない程あった。それと同時に英語学習のもう一つの意義を見出した。英語を学習し、英語が話せるようになる事は、1億2000万人が暮らす日本だけではなく、78億8000万人の「世界」を相手に活躍のフィールドを展開する事ができるという事だ(倍率も78倍になるが日本という付加価値がついている)。それは単なるコミュニケーションのツールだけではない。単純に考えて、日本語のみ話せる選択肢の78倍、人生の選択肢が増える事になる。英語は人生の選択肢を確実に広げるツールなのだと、今回の研修を通じて考えさせられた。

最後に、本プログラムに携わって頂いたすべての方々に感謝申し上げます。

～番外編～

※ 現地でのボランティア 土橋さんの話が大変素晴らしかったので、一部改変し、みなさんにも共有したいと思いました！

日本は世界の極東に位置しています。おまけに、島国です。情報が渡るには海を超える必要があります。そういった意味ではインターネットは私達へ情報を届けてくれる素晴らしいシステムだと思いますが、インターネットには載らない情報も沢山あります。その情報は海を渡り日本へ届く事はありません。その情報の数だけ日本は世界から遅れをとってしまうのです。だからこそ、私達は自分達の目で、足で情報を掴みに行く必要性があり、私達は英語を学習する必要性があるのです。そしてなにより、私達の積極的な行動力こそが大変重要なのです。皆さん ぜひ世界にはばたいてください！

～Taka～

～ Magyarország ～

